

CLTで地方創生を実現する首長連合設立趣意書

国土の約7割を占める我が国の森林は、国土の保全、水源のかん養、地球温暖化の防止、木材の生産等の多面的機能を発揮し、国民生活及び国民経済に大きな貢献をしています。また、我が国の森林は、これまでの先人の努力等により、戦後造林された人工林を中心に本格的な利用期を迎えており、中山間地域も含めた地方の創生を図るためにも、国内の豊富な森林資源を循環利用することが重要な課題となっています。

一方、欧州で開発されたCLT(Cross Laminated Timber：直交集成板)は、経済的・環境的に他の材料より優位であることから、欧米を中心に、中高層や大規模な建築物などに採用され、木造建築の新たな扉を開き、大規模な木材需要の創出につながっています。

我が国でも、CLTは、都市部において、集合住宅に加えて、これまで木材があまり使われてこなかった事務所や商業施設などの中高層・大規模建築物での活用が期待されているとともに、地方において、木材需要の拡大による林業・木材産業の活性化を通じて、多面的機能を有する森林の整備や地域の雇用創出等、地域づくりの起爆剤となることが期待されています。

こうした中で、都道府県におけるCLTに関する協議会の設置、CLTに先進的に取り組む自治体におけるモデル的な建築物の整備等、CLTを核とした地域づくりが始まっています。

また、国も「日本再興戦略」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」にCLT普及による木材需要の創出を位置づけるとともに、国土交通省と林野庁が「CLTの普及に向けたロードマップ」を公表するなど、CLTの普及推進に力強く取り組んでいます。

このように、全国的にCLTを活用した地方創生の取組が動き出した今こそ、志を同じくする自治体間の連携を深め、その取組をより大きな流れとしていくため、「CLTで地方創生を実現する首長連合」を設立することとします。

平成27年7月吉日

設立発起人

高知県知事 尾崎 正直

真庭市長 太田 昇